

# 地域における取り組み

～多度志地区の実践～

多度志地域環境保全協議会  
代表 辻本 智

## 『多度志地域環境保全協議会』での取り組み

### 1 多度志地域の概要～地域の『資源』をさがす

地理的・自然環境の特色

雨竜川に注ぐ地域内を水源とする河川とそれを支える数多くの沢、そして森。  
中山間傾斜地帯に拓けた農耕地と先人の知恵、周辺に広がる山林

### 2 「地区活動計画策定」の背景にあるもの

地域農業(者)をとりまく現状

農産物価格の低迷と農業者の苦悩と選択

- ・水田と転作田の混在化
- ・地域人口の減少と高齢化

### 3 「多度志地区環境保全協議会」の活動

①構成員(団体)と機構図

②活動メニュー

③4月からこれまでの活動報告(日報と写真から)

農地と水路をまもる共同の取り組み

基礎部分

誘導部分

- ・農地・水向上活動
- ・農村環境向上活動

環境・景観形成 生態系保全
------------------

ハーブ研究会 『ヤマベ放流』事業
---------------------

営農活動支援

「環境負荷低減型」の農業をめざして

- ・営農基礎活動支援
- ・先進的営農支援

④パソコン・デジタルカメラを活用した「事務処理の工夫」

### 4 今後の方向性と課題(半年間の実践からの感想)

イ) 協議会での「話し合いと実践」の中で、地域の課題・広い視野(地域の外側)からの  
「地域に求められる責任」を明らかにしてゆく

キーワードは『水』

多度志の場合～水源地域を持つ農村地帯が守るべきものとは

ロ) 農業者への『所得直接支払い制度』ではない・・・という自覚

経済効率だけでは測れない『価値』に対する助成

職業としての『農業は自分の代だけ』でも『農地は国(民族)の財産』

ー地域の宝物(先達人の心)を再認識する作業

昔話を語る機会を提供する～技術の伝承

ハ) さらに使いやすい制度への改善要望

- ・地域の実態に即した使用方法
- ・事務の簡素化、他

多度志地区共同活動実施項目

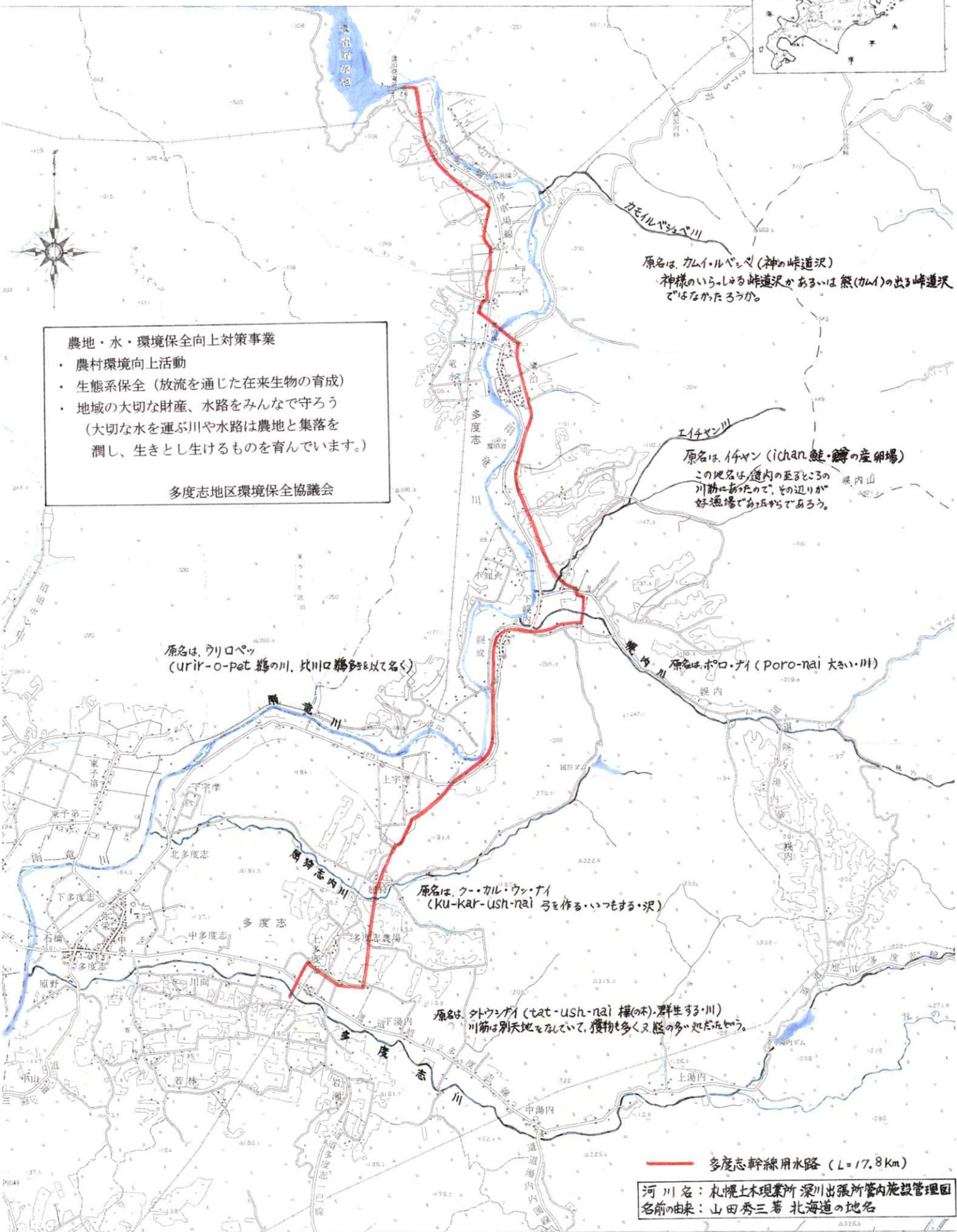
区分	施設	施設	活動項目=計画	全支部実施	
基礎部分	点検活動 4	農用地	○ 遊休農地等の発生状況の把握(遊休地のおそれ)4月…	○	
		開水路	○ 施設の点検(4月…)	○	
		ため池	○ 施設の点検(4月…)	○	
		農道	○ 施設の点検(4月…)	○	
	計画策定	全施設	共同作業計画の策定(共同作業計画書を添付)4月	○	
	実践活動 13	農用地	○	※畦畔・農用地法面等の草刈り(6月10日～25日に実施)	○
			○	※遊休農地発生防止のための保全管理(状況により草刈)	○
		開水路	○	配水操作(支部の水門=管理者)5月…	○
			○	※水路の草刈り(6月10日～25日に実施)	○
			○	※水路の泥上げ(4月25日～5月5日)	○
		ため池	○	定期的な見回り(6月・8月)	○
				配水操作(5月～8月)	○
				ため池の草刈り(6月10日～25日に実施)	○
				※ため池の泥上げ(11月)	○
				かんがい期前の施設の清掃・除塵(4月…)	○
		農道	○	管理道路の管理(6月10日～25日に実施)	○
				※砂利の補充	○
※路肩・法面の草刈り(6月10日～25日に実施)				○	

※点検結果にもとづいて実施の必要性を判断し必要に応じて実施する活動

農地・水向上活動	機能診断 8	農用地	○	施設の機能診断(4月～5月…)	○
			○	診断結果の記録管理(記録した資料を添付)	○
		開水路	○	施設の機能診断(4月～5月…)	○
				診断結果の記録管理(記録した資料を添付)	○
		ため池	○	施設の機能診断(4月～5月…)	○
	診断結果の記録管理(記録した資料を添付)			○	
	農道	○	施設の機能診断(4月～5月…)	○	
			診断結果の記録管理(記録した資料を添付)	○	
	計画策定	全施設		年度活動計画の策定(年度活動計画を添付)4月	○
	実践活動 29 (対象となる活動は40項目)=50%以上実践活動(中山間地の関係で+2項目必要)	農用地	○	※畦畔の再築立(4月…)	○
				※農用地法面の初期補修	○
				異常気象等後の見回り	○
				異常気象等後の応急措置	○
				きめ細やかな雑草対策(7・8月10日～25日)	○
				※融雪材の散布(積雪量等の調査を基に)翌3月	○
				※融雪配水促進のための溝切り(10月)	○
		開水路	○	※水路側壁のはらみ修正	○
				※目地詰め(4月・10月)	○
				※表面劣化に対するコーティング等	○
				※不同沈下に対する早期対応	○
				※側壁の裏込め材の充填・水路耕畔の補強	○
				※水路に付着した藻等の除去(4月…)	○
				※水路法面の初期補修	○
				※破損施設の改修	○
				通水試験の実施	○
				異常気象等後の見回り	○
		ため池	○	異常気象等後の応急措置	○
				きめ細やかな雑草対策(7・8月10日～25日)	○
				機能診断・補修技術の研修(11月)	○
農道		○	※堤体浸食の早期補修	○	
			※破損施設の改修	○	
			異常気象等後の見回り	○	
	異常気象等後の応急措置		○		
	きめ細やかな雑草対策(7・8月10日～25日)		○		

※機能診断にもとづいて実施の必要性を判断し必要に応じて実施

# 多度志



**農地・水・環境保全向上対策事業**

- ・ 農村環境向上活動
- ・ 生態系保全 (放流を通じた在来生物の育成)
- ・ 地域の大切な財産、水路をみんなで守ろう (大切な水を運ぶ川や水路は農地と集落を潤し、生きとし生けるものを育てています。)

多度志地区環境保全協議会

カモルベツベ川  
原名は、カモイ・ルベツベ (神の峠道沢)  
神様のいらしめる峠道沢があるいは熊(カモイ)の出る峠道沢  
ではないかたろうか。

エイヤン川  
原名は、イヤン (ichan 鮭・鱒の産卵場)  
この地名は、道内の至るところの川筋にあつたので、その辺りが好漁場であつたからであらう。

原名は、ウリロペツ  
(urir-o-pet 鶴の川、比川口鶴多志以て名く)

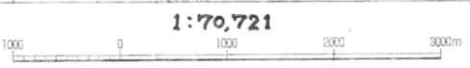
原名は、ポロ・ナイ (Poro-nai 大きい川)

原名は、クー・カル・ウツ・ナイ  
(KU-KAR-USH-NAI 弓を作る、いっもする・沢)

原名は、タウシナイ (tat-ush-nai 樺の木・群生する川)  
川筋は別天地をなして、獲物も多く又鮭の多しだ流れる。

多度志幹線用水路 (L=17.8km)

河川名：札幌土木現業所 深川出張所管内施設管理図  
名前の由来：山田秀三著 北海道の地名



みず たいせつ  
水を大切にしましょう

みず だいじ たからもの  
水は大事な宝物です

みず いのち みなもと  
水は命の源です

みず わたし ゆた めぐ  
水は私たちに豊かな恵みをもたらします

たいせつ みず はこ ちいき ざいん すいろ みんな まも  
大切な水を運ぶ地域の財産の水路を皆で守ろう

たいせつ みず はこ かわ すいろ のうち しゅうらく  
(大切な水を運ぶ川や水路は農地と集落を

うるお い い はぐく  
潤し、生きとし生けるものを育てています。)

多度志地区環境保全協議会